**授業づくり研修講座　実践レポート**

旭小学校　　　北上 歩美

**単元名　第４学年　　「お気に入りの場所」**

**実践のポイント**

・今までの学校生活の中での日常を振り返り、お気に入りの場所を校内で一つ見つける。

・見つけたお気に入りの場所について、理由も合わせて文章で説明する。

・相手にその場所の魅力が伝わるように、意識して書く。

・書いた文章を発表し合い、さらによく伝わるように文章を修正する。

**実践内容**

1. 校内のお気に入りの場所を決めて、クラスのみんなに紹介する文章を書く。

・日常の中で、一番楽しく過ごせる場所や、心が落ち着く場所について考える。

・その場所でどんなことをして過ごしているのか、思い出に残る出来事はあるかを振り返り、

お気に入りの理由として、メモに書き出す。

 　　・紹介した相手に、その場所をどんな時に利用してほしいか、どのように過ごしてほしいか

などのおすすめも、メモに書き出す。

　　 ・メモをもとに、下書きを書く。

1. 文章の構成（はじめ・中・おわり）を確認し、文章の書き出しや、終末部の例文を提示する。

・「はじめ」や「おわり」の部分は、提示された例文を参考にしながら、下書きをする。

・中の部分は、メモをもとにして下書きする。

1. 教科書の例文を読みながら、その場所の魅力についてわかりやすく伝えるためのポイントを

確認する。

・場所での出来事や過ごし方については、詳しく述べる必要は無いということを話し合う。

1. 書いた文章と発表し合い、下書きを修正する。

・内容③で確認したポイントに着目しながら、修正すべき部分についてアドバイスをし合う。

**成果**

　・「だれ」に「何を」伝えるかをはっきりさせることで、文章を書くことに対する抵抗感や負担感を軽減させることができると感じた。

　・書き方の例を示すことで、書き出しで苦労する児童が少なく、取り組みやすくなった。

　・教科書の例文を読んで話し合うことで、長く詳しく書くことだけではなく、「必要な情報だけを順序良くはっきりと書く＝伝わりやすい文章」というイメージを児童が実感できた。

**課題**

・「書く」ことに苦手意識を持つ児童が多い中で、児童同士が互いの文章についてアドバイスをし合うことは難しく、自分自身で推敲し修正する作業を繰り返し行うほうがよかったのではないかと感じた。